

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2018年12月発行

もう、はやくも今年最後の月となりました。毎年12月になると何となくあわただしく感じます。大掃除など、家族みんなで協力して気持ちよく新年を迎える準備を整えたいものですね。なかなか思う通りには進みませんが……。

はもりあ四日市は12月29日から1月3日まで年末年始のお休みをいただきます。

来年もさんかくカレッジ、はもりあフェスタなど事業がたくさんありますので、ご参加よろしくお祈りします。

四日市市初の女性副市長に 男女共同参画インタビュー

10月に、四日市市初となる女性副市長に就任された市川副市長に、はもりあ取材班が、お聞きしました

Q：女性の働き方について、変化を感じることは何ですか？

副市長：女性の働き方は、永遠の課題だと思うけれど、子育てとの両立がだんだん難しくなっていると感じます。例えば、育児休業が充実し、育児はしやすくなった反面、キャリアを積むという点においては、それだけ経験値が下がってしまう。
子育てしている時代は、20代、30代が多く、ちょうど職場で多彩な経験を積んでほしい年代でもある。そのバランスを男性も含めてそれぞれが、どうとっていくかが、ひとつの課題だと思いますね。

Q：女性の登用や働き方の課題について

副市長：課題は、もちろん解消しなければいけないが、四日市市だけでやれるということではないと思います。例えば、製造業は、女性登用の分野で遅れていると言われるが、“ものづくりの町”である四日市でも大企業を中心に経営者の方の感覚も変わってきているし、今まで労働市場の中で主力とされていなかった層であっても、働ける方、能力のある方は、どんどん活躍してほしいという風に発想が変わってきているというのは感じます。
“ものづくりの町四日市”から働き方改革について、行政と企業が連携して何かアクションを起こせればと思っていますし、四日市市は審議会などへの女性登用では、がんばって引っ張ってきたと思うので、次は政策決定過程にもっと女性がたくさん参画することですね。

Q：ご自身の生き方について、仕事と家庭の両立の面からお話をきかせてください

副市長：私は、欲張りだったので“結婚もしたい”“子どもも欲しい”“仕事もしたい”と思っていました。私には娘が二人いるんですが、子育てしながら、“この子たちが、大人になる頃には、もう少し男女平等になってほしい”という思いがあったので、子どもたちに、バトンタッチをするためにがんばろうというのが、モチベーションでした。個人的には、なるべく短時間で仕事ができるようスキルを上げる努力はしてきました。家事に関しては、家族が健康であるために、食事については手抜きをしなかったかな。掃除については、ほこりでは死なないと割り切った生活です(笑)。
完璧を目指すすとマイナス思考になってつらくなるので、“働きながら、ここまでやったんならいいじゃない”という思いでやっていました(笑)

Q：男女共同参画社会の今後に向けて

副市長：まだまだ男女共同参画が実現しているとは言い難い中で、男女共同参画をしなくていいということでは全然ない。ただ、扱う中身というのか、形というのは変わってくると思います。
「誰もが、自分らしく生きられる社会をめざして、共にがんばっていきましょう。」ということだと思います。



【市川 典子副市長】

インタビューの中で、「社会的に政策決定の場に女性が少ない。その構造が変わるまでは、男女共同参画のもっている意味は続くと思う」と話された市川副市長。「はもりあ四日市」でも、課題に向けてしっかり取り組みたいと思います。



募集中

さんかくカレッジ2018 市民企画講座 あした葉企画・運営 介護者に寄りそいたい!



介護を一人で抱えていませんか。日頃の思いを聞かせていただき、介護者の気持ちに寄り添います。

【第1回】日本の介護と諸外国との差

平成31年1月12日(土) 13:30~15:30
講師：堀容子さん((一社)ハッピーネット代表、元名古屋大学大学院医療系研究科教授)

【第2回】介護の本質 たのしい介護

平成31年1月19日(土) 10:00~12:00
講師：堀容子さん((一社)ハッピーネット代表、元名古屋大学大学院医療系研究科教授)

【第3回】介護体験から考える

平成31年2月16日(土) 13:30~15:30
講師：徳岡薫さん(健康管理士上級指導員、上級食育指導士)

【第4回】介護者の身体と心をほぐしましょう

平成31年3月2日(土) 13:30~15:30
講師：水谷祐哉さん(理学療法士)

会場 本町プラザ3階 会議室 **定員** 24名(先着順) **料金** 4回通して1,000円
託児 無料。生後6カ月~小学3年生程度、平成31年1月5日(土)までに要申込み
申込み 講座名、住所、名前、年齢、電話番号、託児の必要な方は
お子さんの名前と年齢を、電話かファクス、Eメールにてお申込みください。



出店者募集!

~はもりあフェスタ2018~

チャレンジショップ 出店者募集!!

平成31年2月2日(土)~3日(日)に開催する「はもりあフェスタ」で、女性の起業支援としてチャレンジショップを行います。あなたの**手作り作品・サービス**を販売・提供してみませんか。

日時：平成31年2月2日(土) 10時から15時
場所：本町プラザ1階 ホール
対象：市内に在住・通勤・通学する女性で、起業に興味のある方(初めての方優先)
内容：手作り品(アクセサリーなど)やサービス(マッサージなど)等を販売・提供し、「起業」を実践します。
申込み：12月22日(土) 17時までに、所定の申込用紙を利用し、EメールかFAXまたは持参で、はもりあ四日市まで申込みください。



※出店者の募集は20組程度、応募多数の場合は抽選。
※申込用紙は、はもりあ四日市、各地区市民センター、はもりあ四日市のホームページから入手できます。(ホームページのURLは裏面に掲載されています。)
※出店の可否は、12月28日(金)までに連絡します。 ※託児有ります。(要申込み、有料)
※出店者は、平成31年1月19日(土)に実施する「トーキングテラス」及び「チャレンジショップ 出店者説明会」への参加が必要です。

案内

市内で活躍する女性と市長とのパネリディスカッション「トーキングテラス~女性起業家編~」 女性起業家が“本音”を語ると何が起こるか?

四日市市在住の女性起業家4人と、市長によるパネルディスカッション&交流会を行います。個性も背景も業種も違う女性4人の「起業のリアル」を直接聞ける貴重な機会です。

日時：平成31年1月19日(土) 13時30分~15時00分(パネリディスカッション)
15時00分~15時30分(交流会)

場所：本町プラザ1階 ホール **対象**：市内在住、または通勤、通学されている方
定員：80名 **参加費**：無料 **託児**：無料ですが1/8(火)までに申込みが必要で
コディネーター：川北睦子さん(株式会社Eプレゼンス代表取締役)

パネリスト：女性起業家3名及び四日市市長

申込み：12月25日(火)9時以降に、講座名、住所、名前、電話番号、託児の有無(必要な場合は子どもの名前と年齢)を電話かファクス、Eメールで、はもりあ四日市まで申込みください。

「ステキな恋愛をしてほしい♡」 ～DVする子にも、される子にもしないために～

11月14日(水)午後2時から、四日市市総合会館8階第4会議室で、アウェア認定のデートDV防止教育ファシリテーターの神永れい子さんを講師にお招きし、「ステキな恋愛をしてほしい♡～DVする子にも、される子にもしないために～」をテーマに講演会を開催しました。講師からは、「DVについての正しい理解と知識を深め、社会全体でDVを生み出していると気づくことが大切である」と話されました。

「何故デートDV防止教育が必要か？」

はじめに、デートDV(ドメスティック・バイオレンス)とは何か、デートDVの要因、デートDVのサイクル等について説明されました。

次に、デートDVの意識チェック、デートDVの特徴、デートDV被害のサイン等について話されました。

最後に、学校や保護者に求められる対応やデートDV防止教育の有効性と中学生や高校生の感想を紹介されました。

＝参加者アンケート＝

- ・学校でのDV教育が大切だと感じました。
- ・子どもたちに上手に伝えていけるといいと思いました。
- ・デートDVの具体的な対応をもう少し聞きたかった。



会場風景

今月のキーワード

ジェンダーギャップ指数

ジェンダーギャップ指数(GGI指数)は、世界経済フォーラムが、各国における男女格差について、「経済(給与、管理職や専門職での雇用における格差)」「教育(初等、高等、専門教育への就学における格差)」「健康(出生率や健康寿命における格差)」「政治(議会や閣僚などへの参画)」の4つの分野で14項目をデータから算出し、毎年、ランキング付けして発表しています。

日本は、昨年114位(144カ国中)と過去最低記録を更新しており、分野別では、「健康」は1位だったものの「教育」74位、「経済」114位、「政治」123位と、特に「経済」「政治」分野での男女格差が大きくなっています。

国は、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%にする目標を掲げていますが、現状は、なかなか進んでいません。

ジェンダーギャップ指数だけで、すべての男女格差が表されるものではありませんが、政策、意思決定の場にどれだけ女性が参画していくかは、重要な課題ではないでしょうか。

2018年のジェンダーギャップ指数ランキングは、まだ公表されていませんが、注目したいところです。

男女
共同

あい さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点[★]を通してね。

先日、こども保健福祉課の「育児学級パパママ教室」に参加しました。妊娠中の健康管理などについて学ぶ座学に加え、沐浴や妊婦体験などの実習もありました。

パパママ教室という名前のとおり、ほとんどの方が夫婦で参加しており、なかにはスーツ姿の方もいて、「仕事に行く前に参加するのはすごい」と思いました。また、参加された方々は、沐浴や妊婦体験などの実習にも積極的に取り組んでいて、「夫婦共同で子育てに取り組む」という姿勢が垣間見えました。

育児と仕事の両立は、最初は難しいかも知れませんが、その期間に育児に携わるからこそ感じる事ができる成長や感覚などがあると思います。私も、まず、できるところ(沐浴やおむつ交換など)から始めて、できることを増やし、育児に積極的に関わっていきます!

【おそらく沐浴担当になるであろう担当：D】



事業報告

橘 ジュン講演会を開催しました 漂流する少女たち「無関心社会」の罪 ～若年女性を取り巻く現状～

10月27日(土)、本町プラザ1階ホールにて、橘 ジュン講演会を開催しました。この講演会は、7月に開催予定でしたが、台風12号の接近に伴い延期となり、時期をずらしての開催となりました。

講演では、居場所のない10代、20代の女の子のための保護活動を、日々行っている橘 ジュンさんから、日常の中で起きている若年女性の現状を事例を交えてお話いただきました。

参加者アンケートでは「若年女性の実情を知れて良かった。周りのことに関心を持つということも大切と思った」「支援を必要としている女の子の状況を理解できたこと、その女の子に誠実に向き合いながらサポートしているように感じました」など、満足度の高い感想をいただきました。

この講演会で、繋がることの重要性を改めて感じるとともに、私たちに何が出来るのか、何をすべきかを考える良いきっかけとなりました。



【講演会の様子】

さんかくカレッジ2018市民企画講座 NPO法人四日市男女共同参画研究所 企画・運営

「人生100年時代と地域」

——変化と希望のモデルに学ぶ—— 3つの事例に学びました。(9/29 10/20 11/10)

- ① 病は市に出せ —徳島県の小さな町に学ぶ— 講師/岡 檀
ゆるやかなつながりの中で、多様性を尊重しながら取り残される人を作らない地域づくり
- ② 認知症カフェと連携「メモリーカフェ“日永”」から学ぶ 講師/Dr.三原貴照と地域スタッフ
軽度認知症の患者と家族のケア・認知症になっても大丈夫なまちづくりのために
- ③ 高齢者が働く 講師/北川静子
農村資源を次の世代に繋げるために 農業レストラン「まめや」の挑戦

(参加者からの感想)

有意義な講座でした。地域の大切さを改めて感じました。

健康で自立した生活を送っていきたい。

メモをギッシリ取って今後の参考にしていきたい!

など多くの感想をいただきました。



【講座の様子】

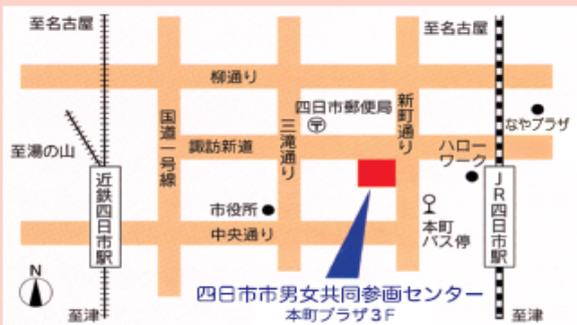
おしらせ

はもりあ四日市は、12月29日(土)～1月3日(木)まで休館となります。

年内は12月28日(金)21時まで開館、年始は1月4日(金)9時から開館いたします。

○●◎あとかぎ◎●○

今年も終わりに近づいてきましたが、この1年を振り返ってどのような年でしたか。やり残したこと、失敗したこと、成長できたこと、感謝したいこと、最もうれしかったことなど。私は、長年の懸案だった洗面所のカビとりと壁の塗り直しが、ようやくできてほっとしています。そして、皆さんから多大な応援をいただき、全国に「こにゅうどうくん」の魅力を発信することができありがとうございました。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml